

スポーツビジネスとスポーツ政策に関する研究

准教授 澤井和彦

1. 研究内容

スポーツビジネスやスポーツ政策、スポーツと社会問題に関する研究を中心に、スポーツに関わるテーマであれば幅広く取り扱う。現在の講師の関心領域は次の通りである。

1. プロスポーツ、トップスポーツ組織の経営と社会的影響に関する研究
2. オリンピックなどスポーツイベントの経営と社会的影響に関する研究
3. スポーツ施設・スタジアム・アリーナの経営と社会的影響に関する研究
4. アスリート・体育会系運動部員のキャリア形成に関する研究
5. 大学スポーツの経営に関する研究
6. 運動部活動の経営に関する研究
7. eスポーツ、オルタナティブスポーツなど新しいスポーツに関する研究
8. コロナウイルス感染拡大後のスポーツ経営に関する研究 など

2. ゼミの進め方

《2年次》

4～5月；上記テーマに関するテキストの抄読・グループワークとプレゼン

6～7月；研究テーマと研究グループの決定、グループワーク

9月～10月；「商学部学生対校プレゼンテーション大会」「スポーツ政策学生会議（SPJ）」準備と出場

11月；お休み、12～2月；テキストの抄読と発表。合宿は夏季休暇中に実施。

《3年次》

春学期は具体的なテーマを決めてグループ研究を行い、秋学期ではその成果をスポーツ政策学生会議（Sports Policy For Japan；SPJ）（下記参照）で発表する。合宿は夏期休暇中に実施する。

《4年次》

春学期・秋学期ともに卒業論文を作成し、奨学論文に応募する。合宿は夏季休暇中に実施。

3. 教材

ゼミにて適宜配布する。

4. 成績評価の方法

課題への取り組み姿勢、ゼミ共同研究活動（SPJ、プレゼンテーション大会など）への参加姿勢、ゼミ論文等、総合的に判断する。

5. ゼミ入室試験（選考方法）

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

6. その他・志願者へのメッセージなど

このゼミでは、2、3年生は毎年10～11月に開催される商学部プレゼンテーション大会やインターカレッジの政策コンペティションである「スポーツ政策学生会議（SPJ）」を目標としてグループワークによる研究に取り組みます。4年次にはその成果をふまえて卒業論文を作成し、奨学論文に応募します。スポーツを支える人や組織、そしてスポーツに係る社会問題に関心を持ち、積極的に取り組める学生の来室を希望します。また授業時間だけでなく、合宿や担当教員が推薦するイベントやセミナー、スポーツイベントなどのフィールドワーク、ボランティア、インターンシップ等をしばしばご紹介しますのでそうしたイベントに積極的に参加できる人材を希望します。単に「スポーツが好き」というだけの方、何が何でも部活優先という方にはつまらないゼミになると思いますのでご遠慮いただいた方が良いでしょう。